

第9回「みなかみ町協働のまちづくり委員会」会議録

1. 開催日時 平成21年9月15日(火) 午後7時～午後9時
2. 開催場所 役場本庁6階 第2会議室
3. 出席者数 19名(委員16名・事務局3名) 詳細は席次表のとおり

4. 開 会

- ・事務局が開会を宣言する。
- ・事務局が欠席委員3名を報告する。(阿部賢一委員、山田委員、中澤委員)
- ・事務局が会議資料の確認をする。

事前郵送資料：第8回会議録案

本支配布資料：委員会次第

資料1「地区まちづくり協議会の進捗状況について」

竹内委員より提案書「協働の大きな目的は2つある・・・」

委員会名簿

5. 委員長挨拶

- ・松井委員長が挨拶する。委員会に新規委員が入り19名となった。協働のまちづくり委員会をしっかりと進めていきたい。各地区にまちづくり協議会が立ち上がった。
- ・新規委員の鈴木祐子委員が挨拶する。

6. 協議事項

- ・松井委員長が議長となり、以下のとおり進行する。

(1) 第8回委員会会議録案の確認について

会議録案のとおり訂正なしで承認される。

(2) まちづくり協議会の進捗状況について(資料1)

- ・事務局が資料1に基づき説明する。3地区のまちづくり協議会設立総会がすべて終了した。今後、各協議会で事業等の検討や事務局の引き継ぎを行う予定である。総合政策課は、各事務局のサポートをしていく予定である。

<松井議長>

- ・各協議会の会長から何かありませんか？

<馬場委員>

- ・月夜野地区の会長となった。構成員は、区長か副区長が選出されている。任期が2年であるためと思う。副区長は、設立準備会に出ていないので、まちづくりとは何なんだという状況なので勉強が必要であると思う。運営委員等の役員と協議しながら進めていきたい。

<福井委員>

- ・NPOや各種団体の構成員がいるので、その団体の事例発表（活動内容）を行っていききたい。総会の時は、ピノキオの方に事例発表をしてもらった。その他は、次回の協議会で事例発表してもらう予定である。今月25日に役員会を開催してスケジュールや運営方針について検討する予定である。

(3) 委員会の進め方について

- ・竹内委員が提案書の説明をする。今まで委員会では、町民憲章、情報共有及び3地区の協議会等について協議してきたが、あまりに断片的すぎて協働の会議の方向性が見えない気がする。この委員会は、基本事項である協働の目的について話し合い、そこから話を派生させる方が自然の流れかと思うので、協働の目的をみなかみ町の現状に置き換えて会議を進めることを提案したい。住民のニーズの多様化により、行政が対応仕切れなくなっており、協働の動きが出てきた。協議会でも協働の作業が出てくることを住民が理解していないと思う。行政の財政をしっかりと立て直さないと協働のまちづくりはできないと本にも書いてある。また、協議会に権限を持たせないとただの行政の出先機関にしかならないと思う。この点について委員会で話し合いが必要であると思う。

<松井議長>

- ・竹内委員の意見を含めて今後の委員会の進め方について話し合いをしたいと思う。

<馬場委員>

- ・協議会と委員会をどうやって進めたらよいのか、はっきりさせた方がよいと思う。

<福井委員>

- ・水上地区からも「なぜ、今更3地区に分かれる必要があるのか」という意見が出た。まちづくり委員会と協議会が分かれていることさえ知らない人がいる。協議会が立ち上がって、各地区で話し合いができることは画期的であると思う。話し合いの中で何かが生まれてくることを期待している。

<鈴木祐子委員>

- ・協議会では、子どもたちが夢を見るための活動ができればよいと思っていたが、温度差を感じた。また、活動団体の立場として参加しているのではなく、協働のまちづくり委員として参加しているが、どのような意見を出したらよいのか難しい。

<松井議長>

- ・公民館活動が合併によって失われた。特に男性30～50歳代の活動が失われたと思う。運動会等がその例であり、話し合える場所がなくなった。今までは契約（話し合い）で行政と住民の役割分担ができていたように思えるが、合併や町の財政難により対応が変わってきている。その契約を再度見直すことが、本委員会の役割だと思う。竹内委員が提案された行財政改革の部分は、行財政委員会を合併後やってきたので、本委員会はそこに触れてこなかったのが事実である。国が新政権になってどうなるかは分からないが、パッケージで予算化されると思う。これからは優先順位を話し合いで決める必要があり住民の合意が大切である。

<鈴木祐子委員>

- ・月夜野地区の協議会に奈女沢区と大峰区は出ていない。協議会の内容が理解できれば構成員を選出する可能性があると思う。

<福井委員>

- ・委員会の進め方に疑問をもっている。情報共有について色々と言われた意見がどのように反映されたのか分からない。

<高橋茂夫委員>

- ・協働とは、対等だと思う。ここで出した意見がどういう方向でどう決まるのかがはっきりしないとダメだと思う。協議会の300万円は、使い切るための協議会では夢がないと思う。また、協議会と委員会はリンクしないと思う。竹内委員が考えている権限についてどうするのが協働の本質だと思う。貴重な時間を裂いて出てきているのだから。

<竹内委員>

- ・委員長から協議会のメンバーに協議会は実労もあるといってもらいたい。行政にお金がないのは分かったが、なぜその事業を先に行うのか、優先順位についての説明を町からしてもらいたい。

<福井委員>

- ・市町村によって協働のまちづくりについてやり方が違ってよいと思う。協議会の進め方は、いったん決めたことをぶれずに進める必要があると思う。

<河合委員>

- ・300万円について、どう使うかどのようにするかは、協議会で決めることだと思う。分かりにくい点もあるが、それを説明するのが我々だと思う。善し悪しを決めたりチェックすることが、本委員会の役割だと思う。全然関係ないとは思わない。今までにこんな方法を行政ではやっていなかったが、悪いことではないと思う。権限ということも大事だが300万円をしっかりと使う権限を与えていると思う。よい事業があった場合、他の地区にも実施してもらおうよう進めるのが本委員会の役割であると思う。

<松井議長>

- ・他の団体補助も今後、協議会に任せたいという話を町長は思っているようである。

<高橋茂夫委員>

- ・300万円について議論するのと、協働のまちづくりの議論を一緒にしてしまっていることが問題である。委員会の権限をどこまで捉えるかということをお話したつもりである。

<鈴木明子委員>

- ・この委員会は、首長が変わっても意見をしっかりとすべきものであると思う。

<高橋茂夫委員>

- ・私たち委員は、選挙で選ばれたものではない。公募により委員になった。

<河合委員>

- ・権限は、勝ち取るものであると思う。

<竹内委員>

- ・委員会は、2年間で終わるが、協議会は今後も残るものである。

・・・・・・・・10分間休憩(午後8時~)・・・・・・・・

<松井議長>

- ・協働のまちづくりについて各委員の思いを出してもらいたい。

<鈴木明子委員>

- ・一般町民としての生の声を行政に伝えて、一般町民と一緒にまちづくりができたらと思う。色々な人と出会って自分の世界を広げたいと思っている。自分でも微力ながら何かしたいと思う。

<田村委員>

- ・私のできることがよく分からない。何ができるのか考え中である。子供達の住みやすい町にしたいと思う。私も一生この町にいると思うので、安心して子供を育てられる町にしたいと思っている。

<阿部真行委員>

- ・まちづくりという言葉に魅力を感じた。人が歩けるまちづくりをしたいと思っている。人が集まる場所や仕組みをつくりたいと思った。

<平原委員>

- ・協働のまちづくりという新しいことを始めた訳なので長い時間がかかると思う。気が付いた点を提案し進めたらとよいと思う。また、協議会を設立し、話し合いができることはよいことだと思う。

<樋口委員>

- ・同世代の意見を伝えたいと思っている。グループミーティングみたいな方法で会議を進めてもらおうと話しやすくなると思う。

<速水委員>

- ・本委員会の意見を政策に反映させないと委員の気持ちが薄れてくると思う。町のまちづくりの基本は、総合計画であり、総合計画を基にして、具体的に話を進める必要があると思う。子育ての分野、観光等の分野で議論を進めていき本当に必要と思われるものを条例化すればよいと思う。

< 竹内委員 >

- ・すばらしい意見で、やりがいがある。

< 河合委員 >

- ・30数年新治に住んでいたが、仕事が町外であったため町にはいなかった。私なりに何かできることがあるのではないかと思います委員に応募した。

< 小野委員 >

- ・まちづくりについて、自分がどういうことができるのかを勉強したいと思った。役場の職員として、協働ということが今後必要になると思ったからである。自分がレベルアップして住民サービスの向上になればと思う。若者が少なくなり、結婚すると沼田市等へ出てしまう。また、消防で集まった時に協働のまちづくりについて話をしている。協働のまちづくりについて、まだまだ勉強しなければならないと思っている。

< 前田委員 >

- ・この町をどのようにしたいのかは町民それぞれ違うと思う。本委員会は、方向性を示すべきであると思う。各委員から経験の話をしてもらったらどうか。

< 宮崎事務局長 >

- ・進むべき方向を示せなくて申し訳ない。以前町民から町の情報の出し方が悪い、バックアップしてくれないという意見をいただいた。また、各委員から個々の事例の中で「ここはこんな風になればいいな」とか「こんなバックアップがあればいいな」という意見を出してもらいたいと思う。

< 馬場委員 >

- ・町長の考え方が分からない。本気で協働のまちづくりを行うのであれば、事務局が専門で担当しないとダメである。

< 福井委員 >

- ・今後、協議会の事務局が役場から協議会に移ってしまうことが心配である。

< 宮崎事務局長 >

- ・事務局は、総務課や各支所といった現場に近いところに置きたいと考えている。

(4) その他

< 次回委員会の開催について >

第10回委員会は、平成21年10月29日(木)19:00~本庁6階第2会議室において開催することで決定する。また、正副委員長と事務局で委員会の方向性を詰めたいと思う。

7. 閉 会

- ・事務局が閉会を宣言する。

第9回「みなかみ町協働のまちづくり委員会」 席次表

日時：平成21年9月15日（火）19：00～

場所：みなかみ町役場（6階）第2会議室

